

# 透析時間延長のための当院 の取り組み

援腎会すずきクリニック

○橋 健一、鈴木 翔太、本田 周子、鈴木 一裕

# 【当院のしっかり透析とは】

時間延長  
5時間以上

高血流  
QB300mL/  
min以上

前希釈  
on-lineHDF



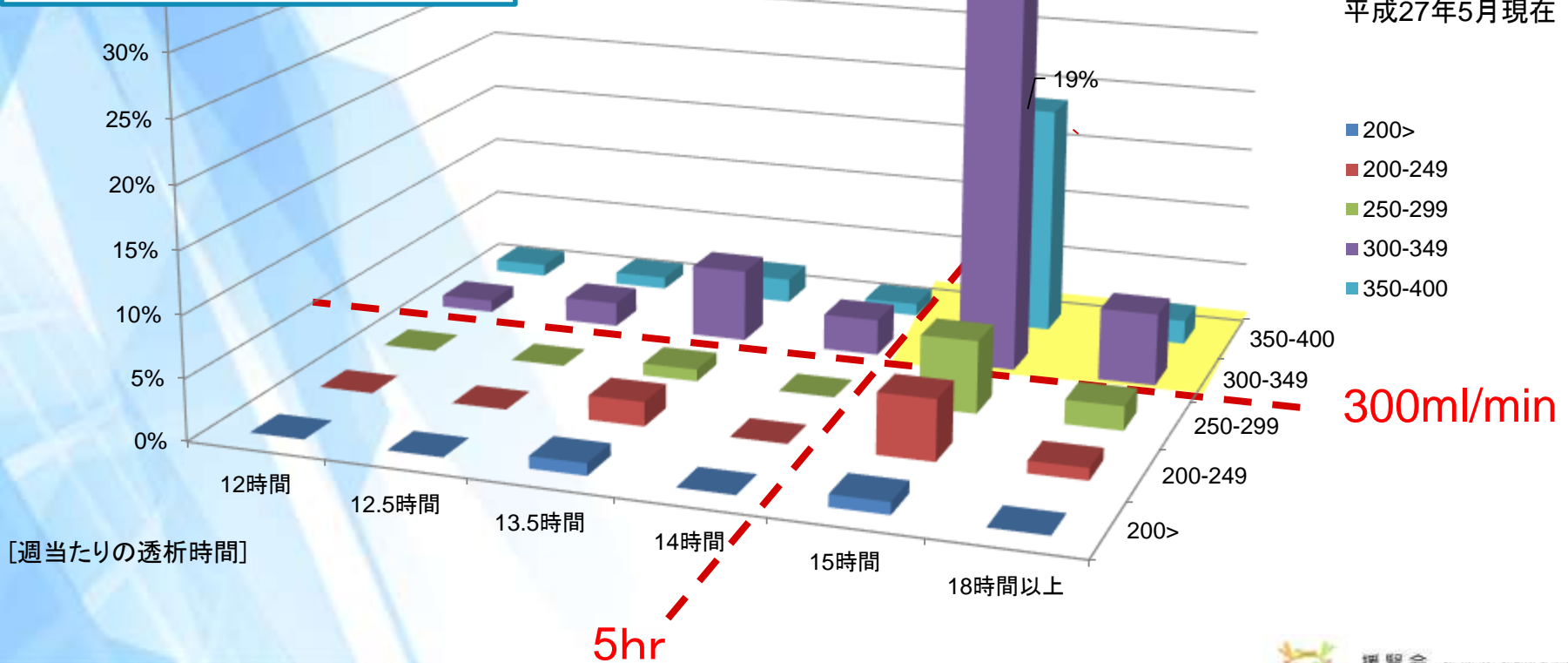
「しっかり透析」で元気に長生き！

# 【当院の週当たりの透析時間と血流量の分布】

101名中  
 5時間以上 &  
 QB300ml/min以上 : 65名  
 On-lineHDF : 84名  
 平均血流量 : 310.3 ± 58.1 mL/min  
 平均透析時間 : 5.0 ± 0.5時間

n=101

平成27年5月現在



## 【目的】

- 透析時間の延長は、生命予後改善を含め期待される効果が多い。
- しかし、透析時間の延長を希望しない患者が多く、患者への十分な啓蒙が必要である。
- 当院でも、平均透析時間が5.0時間を超えるまでに開院から7年もの時間を要した。
- 透析時間延長への取り組みとその過程を報告する。

## 【方法】

- ① これまでに行った取り組みを、時間の経過とともに解析した。
- ② 開院時の2008年5月から2015年5月までの透析時間分布と平均透析時間を調査した。



# 【対策①】送迎サービスは5時間以上

2009年10月より開始

送迎サービスの条件を透析時間は4.5時間  
(2014年7月より5.0時間) 以上とした



- 市内、ルート送迎のみ
- 自身で乗り降りができる
- 現在、22名が利用中

## 【対策②】個室センターの増設

2012年7月開設



- 5時間以上
- 透析中安定している
- ADLの自立

## 【対策③】週4透析の開始

- 希望する患者に対し週4回透析を開始した。
- 中2日を空けない透析を続けることで患者の愁訴訴えは減り、生命予後の改善や多くの合併症の発症リスクを減らすことができる。
- 本来は、頻回透析は保険請求可能なHHDで行うことが望ましい。しかし、現在当院ではHHDを提供できない。頻回透析が優れた透析方法であると言う事は広く知られており、希望する患者にはこれからも週4回透析を提供していきたいと考えている。

月水金の患者

**5h (月) → 5h (水) → 5h (金) → 4h (土) : 計19h**

or

火木土の患者

**4h (月) → 5h (火) → 5h (木) → 5h (土) : 計19h**



## 【対策④】長い透析時間の方から穿刺する

- 穿刺を透析時間が5時間→4.5時間→4.0時間の順とした。
- 不満のある患者には、「5時間透析にするなら、早めに穿刺しますよ」と提案。
- 夜勤明けの患者には、個室透析センターでの透析中寝やすい環境を提示して、透析中は寝てもらうことで時間延長を勧めた。

# 【対策⑤】時間延長の有用性の啓蒙

毎月行う個人面談において時間延長の有用性を提言し続けてきた

始めは面談を嫌がる患者もいたが・・・

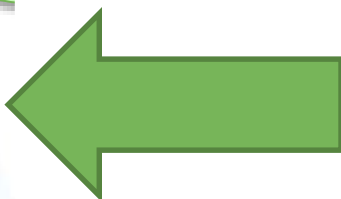


長時間透析の良さを

- 理解
- 納得
- 実行

院長が来たぞー！

時間を延ばされるー！



# 【対策⑥】透析中飽きずに過ごせる対策を行った

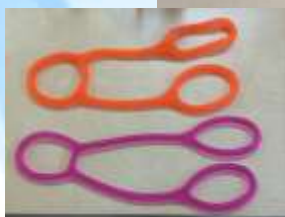
エルゴメーター



バランスボール



トレーニングバンド



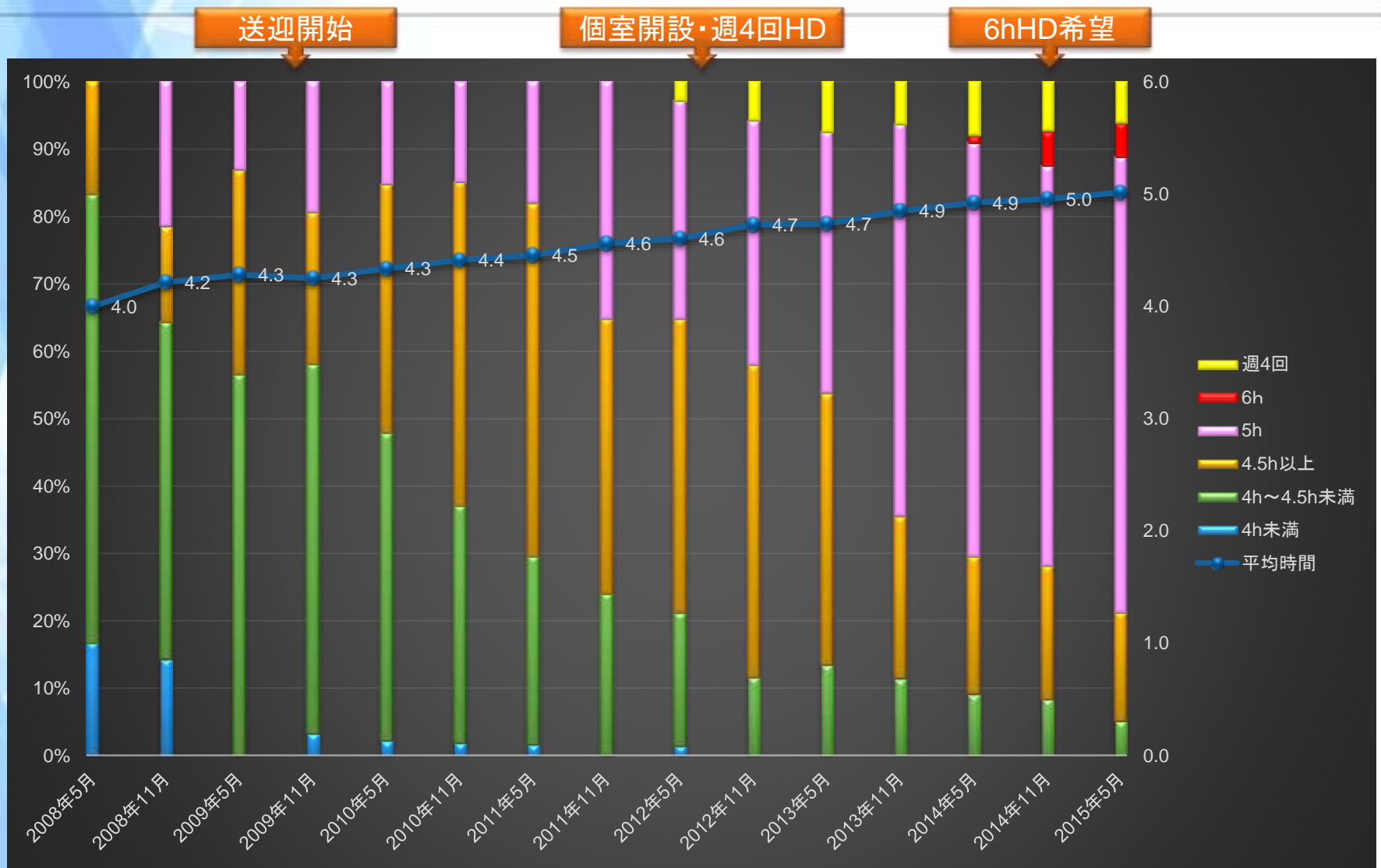
## 【対策⑦】 自発的に6時間透析を希望

2014年11月頃より

- 透析中の血圧低下がある患者にさらなる時間延長（5→6時間）を提案。
- 6時間透析移行後、血圧低下が改善。
- 周囲の患者が、帰宅後の体調が良好なことや、合併症予防に良いなどを聞いて、自発的に6時間透析を希望し、口コミで広まった。



# 【結果】透析時間の推移



## 【考察】

- 患者に透析時間延長の効果を理解させることは困難であり、実行するのは難しい。
- 我々の行ってきた取り組みは、
  - ① 透析時間を延長しやすい環境を作る
  - ② 時間延長を体感させることである。
- このことは繰り返して行う必要があり、透析従事者の熱意と努力が必要となるが、徐々に体調改善を実感する患者が増えていき、他の患者への口コミから多くの患者に伝播していく。

## 【結語】

---

- 透析時間延長は生命予後やQOLを改善する。
- 今後も透析時間延長のメリットを啓蒙していきたい。

# 長時間透析研究会 COI 開示

筆頭発表者名： 橘 健一

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある  
企業などはありません。